

自主創造

2019年10月10日

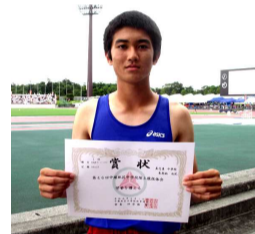
第6号

校長 根路銘 敢

学校教育目標

- 「生きる力」の育成
- 「頭」を鍛える
- 「心」を鍛える
- 「体」を鍛える

行事を通して成長しよう



地区陸上共男ジャベ1位・総合13位



朝夕の涼しさに秋を感じる季節を迎えました。沖縄でも、実りの秋にふさわしく、ショッピングに行く、果物からフアッションにいたるまで秋が満載です。

10月6日(日)に行われました日曜授業参観にはたくさ

んの保護者の皆さまにご参加を頂き、大変ありがとうございました。各学年のPTA役員が出席したバザー(1年沖縄そば、2年フランクフルト、3年カレー)も大盛況に終わりました。皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

さて、生徒たちは、11月8日に開催される「合唱コンクール」に向け、本格的な練習に入っています。校内のあちこちで素敵な歌声が響き、心地よい時間が流れています。

並行して、1年は「職場体験」、2年は「修学旅行」、3年は「進路決定」に向け、着々と準備を進めています。各学年とも、忙しいながらも充実した日々を送っています。

10月は年度の折り返しの月、中3生にとっては、卒業までちょうど半年という時期でもありません。真志喜中で過ごす短い半年間を大切にしたいと思っています。

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋：何をすることも適した

季節といわれるこの秋、いろいろな体験を通して、さらに自分自身を高めてほしいです。

教育実習を終えて

9月24日

で教育実習が行われました。今年度は、本校卒業生の田名七海さん(奈良大学)、又吉美来さん(沖縄国際大学)のお二人が実習生として奮闘しました。実習期間中、授業観察や給食指導、清掃指導、研

地区陸上競技大会

9月18日(水)、中頭地区中学校体育連盟主催の第46回陸上競技大会が開催されました。熱帯低気圧やインフルエンザという2つの「かぜ」(忍先生談)に悩まされ、思うように競技や応援の練習を行うことはできませんでしたが、予定通り最後まで競技を行うことができました。

成績の方は、残念ながら総合13位(男子9位、女子16位)。「去年より今年は...」という思いがあっただけに、悔しい結果になってしまいました。個人では、ほとんどの選手が自己ベストを更新し、3つの種目で入賞しました。さらに、共通男子ジャベリックスローで3年生3東恩納尚紀さんが58m23cmを投げ見事優勝。来る11月16日に宮古島で行われる県陸上競技大会への出場権を得ました。

バックスタンドでは、応援リーダーや生徒会を中心に全校体制で選手団にエールを送りました。「真志喜サンバ」や「We are 真志喜」「ダイナミック琉球」などの多彩なメニューで、歌ったり、踊ったり、うちわを振ったりして、楽しみながら、応援をがんばりました。

夏休みからがんばった選手の皆さん、サポートの先生方、応援に駆けつけてくれたPTAの方々、毎日遅くまで残ってがんばった応援団の皆さん、本当にお疲れ様でした。来年、またがんばりましょう。

【結果】

団体 総合13位
(男子9位女子16位)

個人 ※3位入賞以上

- 1年男子100m 玉寄一星 3位(12秒43)
- 共通男子1500m 黒木晴也 2位(4分32秒8)
- 共通男子ジャベリックスロー 1位 東恩納尚紀(58m23)



究授業等をこなし、充実した15日間を過ごしました。教育実習生の皆さんが本校での経験を糧に将来素晴らしい教員になることを応援しています。

【感想】
多くの人たちに支えられ続けた15日間でした。真志喜中の皆さんとの出会いを通して、先生になりたいという気持ちが強くなりました。本当に素敵な教育実習をさせていただきありがとうございました。(田名七海)

はじめは生徒との接し方がわからず不安でしたが、授業の回数を重ねるたびに生徒との距離を縮めることができましたように感じます。実際に教育現場に立つことで教員という職業の大変さややりがいをもっと感じること

ができました。生徒から「先生になって真志喜中に帰ってきてね。」と言われた言葉が印象に残っています。お世話になった先生方や生徒の皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。(又吉美来)